

各位

2021年10月29日

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

**Spiber 株式会社をオリジネーターとする**  
**事業価値証券化取引 (Value Securitization) における**  
**シンジケート団組成について**

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、2020年12月30日付プレスリリース「Spiber 株式会社をオリジネーターとする事業価値証券化取引 (Value Securitization) の実行について」(以下、第1回資金調達取引)および、2021年9月8日付プレスリリース「Spiber 株式会社をオリジネーターとする事業価値証券化取引 (Value Securitization) における新規契約の締結について」(以下、第2回資金調達取引)にて公表のとおり、Spiber 株式会社(取締役兼代表執行役 関山 和秀、以下 Spiber)をオリジネーターとし、Spiber の新世代バイオ素材「Brewed Protein™」の開発および製造事業を対象とする「事業価値証券化 (Value Securitization)」(以下、本スキーム)に基づく取引において、アレンジャーを務めました。そのうち、第2回資金調達取引を対象とするシンジケート団の組成において、株式会社国際協力銀行(代表取締役総裁 前田 匡史)および、株式会社三菱UFJ銀行(取締役頭取執行役員 半沢 淳一)が参画しましたのでお知らせいたします。

また、第2回資金調達取引を対象とするシンジケート団の組成と併せて、本スキームに基づく50億円の追加的な資金調達(以下、第3回資金調達取引)において当社がアレンジャーを務めたことにより、本スキームによる資金調達取引の総額が、第1回資金調達取引から第3回資金調達取引までの累計で400億円となりました。

Spiber は、構造タンパク質素材「Brewed Protein™」を開発する、山形県鶴岡市に拠点を置くバイオベンチャーです。Brewed Protein™ポリマーは、植物由来の糖類を主原料に使用し、微生物による発酵(ブリューイング)プロセスにより製造され、用途に応じて多様な特長を付与することが可能です。そのため、アパレル分野や輸送機器分野など、様々な産業における脱石油・脱アニマルのニーズに対し大きな役割を果たせる可能性を秘めており、持続可能な社会の発展に資する次世代の基幹素材と目されています。

当社は、国内外の法人のお客さまを対象に、様々な有形資産・無形資産を対象とする流動化取引やメザンファイナンス、その他新規性の高い各種金融ソリューションを提供しております。各産業分野におけるお客さまのESG及びSDG'sへの取組が加速する中、経済・社会の構造変革を促す新技術、代替技術の導入や商業化を支援する金融ソリューションの提供を一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上